

# 子ども医療費助成方法一覧：都道府県と市町村状況一覧

2016/04/30現在 (株)社会保険出版社調べ

都道府県名	都道府県の助成方法		市町村の助成方法の数			
	現物・併用	償還	全体	現物・併用	償還	現物・併用比率
北海道		○	179	175	4	97.8%
青森県	○		40	40	0	100.0%
岩手県(注1)		○	33	0	33	0.0%
宮城県	○		35	35	0	100.0%
秋田県	○		25	25	0	100.0%
山形県	○		35	35	0	100.0%
福島県	○		59	59	0	100.0%
茨城県	○		44	44	0	100.0%
栃木県	○		25	25	0	100.0%
群馬県	○		35	35	0	100.0%
埼玉県		○	63	63	0	100.0%
千葉県	○		54	54	0	100.0%
東京都	○		62	62	0	100.0%
神奈川県	○		33	33	0	100.0%
新潟県(注2)	○		30	30	0	100.0%
富山県	○		15	15	0	100.0%
石川県(注3)	○		19	14	5	73.7%
福井県		○	17	0	17	0.0%
山梨県	○		27	27	0	100.0%
長野県		○	77	0	77	0.0%
岐阜県	○		42	42	0	100.0%
静岡県	○		35	35	0	100.0%
愛知県	○		54	54	0	100.0%
三重県(注4)		○	29	0	29	0.0%
滋賀県	○		19	19	0	100.0%
京都府	○		26	26	0	100.0%
大阪府	○		43	43	0	100.0%
兵庫県	○		41	41	0	100.0%
奈良県		○	39	0	39	0.0%
和歌山県	○		30	30	0	100.0%
鳥取県	○		19	19	0	100.0%
島根県	○		19	19	0	100.0%
岡山県	○		27	27	0	100.0%
広島県	○		23	23	0	100.0%
山口県	○		19	19	0	100.0%
徳島県	○		24	24	0	100.0%
香川県	○		17	17	0	100.0%
愛媛県	○		20	20	0	100.0%
高知県	○		34	34	0	100.0%
福岡県	○		60	60	0	100.0%
佐賀県	○		20	20	0	100.0%
長崎県	○		21	20	1	95.2%
熊本県(注5)	○		45	40	5	88.9%
大分県	○		18	18	0	100.0%
宮崎県	○		26	26	0	100.0%
鹿児島県		○	43	0	43	0.0%
沖縄県(注6)		○	41	0	41	0.0%
	38	9	1,741	1,447	294	83.1%

(注1)岩手県は、2016年8月全県一斉現物給付(併用)に移行。100%へ。

(注2)新潟県は交付金化し、助成対象・助成方法等県の指定なし。市町村の制度によるので現物給付とした。

(注3)石川県羽咋市2016年11月現物給付へ、合計15市町(78.9%)現物給付に。

(注4)三重県鈴鹿市2017年4月現物給付(併用)、1市(3.4%)現物給付へ。

(注5)熊本県は県の指定なし、市町村委託なので現物給付(併用)とした。

(注6)沖縄県南風原町2017年1月現物給付(併用)、1町(2.4%)現物給付。

## 全国の8割超の市町村が現物給付(併用含む)方式

現物給付ゼロ県(併用含む)は、岩手県、福井県、長野県、三重県、奈良県、鹿児島県、沖縄県の7県

このうち、岩手県は2016年8月全市町村が現物給付化。三重県と沖縄県の1自治体が2017年4月現在で現物給付化へよって、2017年4月現在ゼロ県は、福井県、長野県、奈良県、鹿児島県の4県